

区民モニター
報告書

住んでよかった住之江区をめざして

～地域資源を活かしたまちの活性化に関するアンケート～

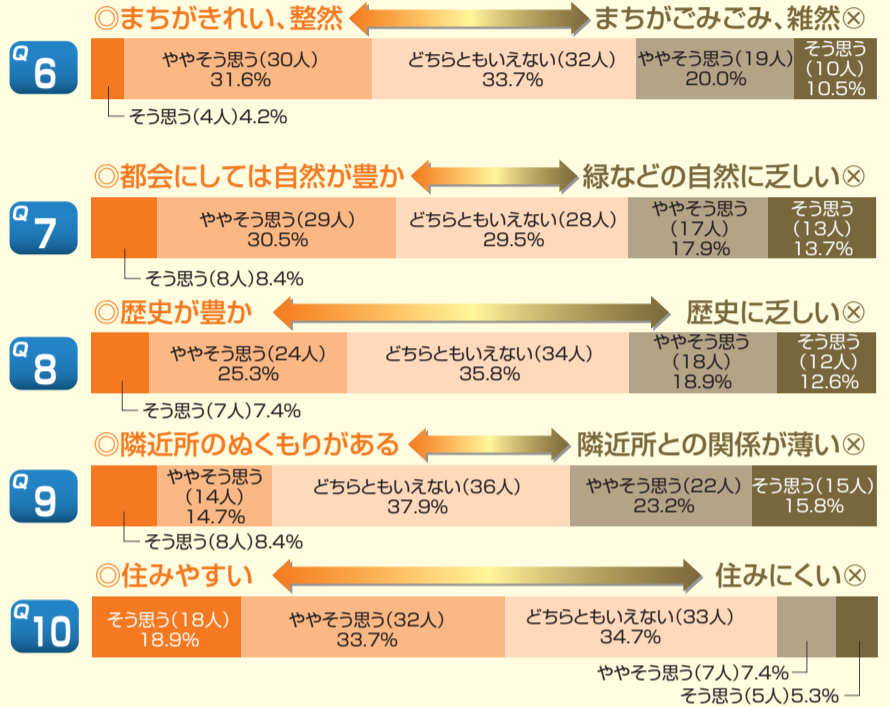
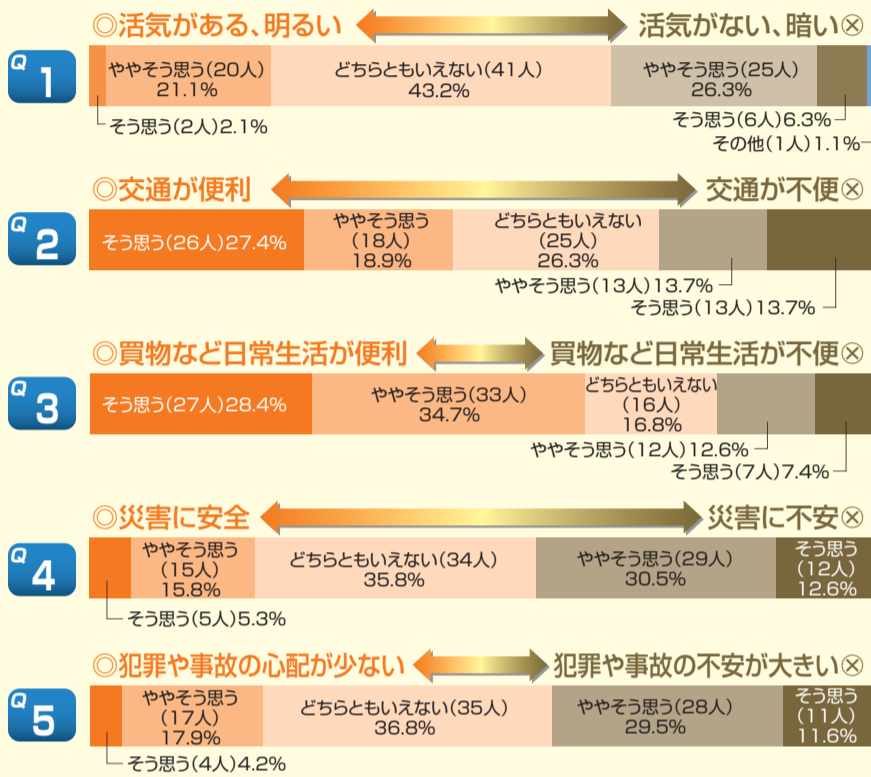


◆調査の目的

区役所重点予算枠事業のうち「地域資源をまちづくりに活かす」事業について検討するにあたり、現在の区のイメージや名所旧跡、地域の活性化をめざした行事に対する認知度及び意見等を収集することによって、的確に区民のニーズを把握し、客観的な評価を受けることで、以降の「地域資源をまちづくりに活かす」事業に反映します。

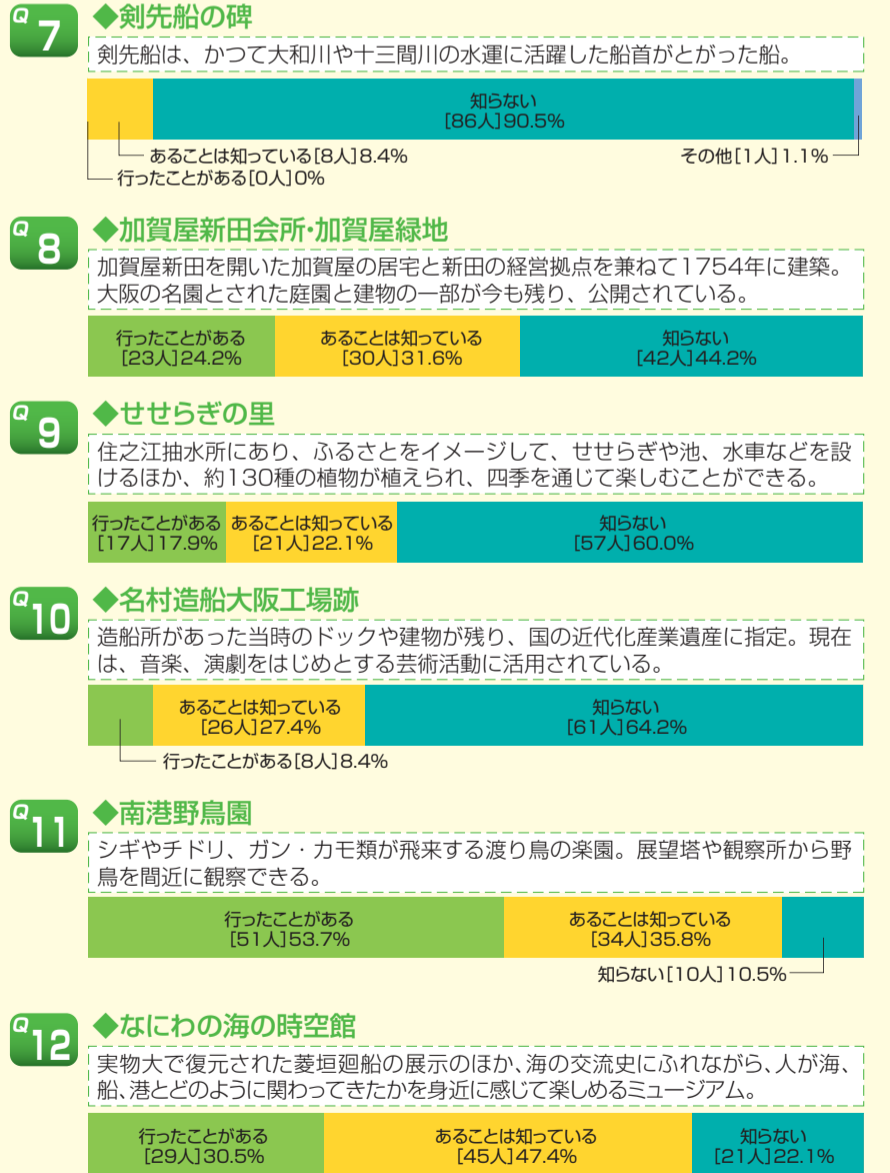
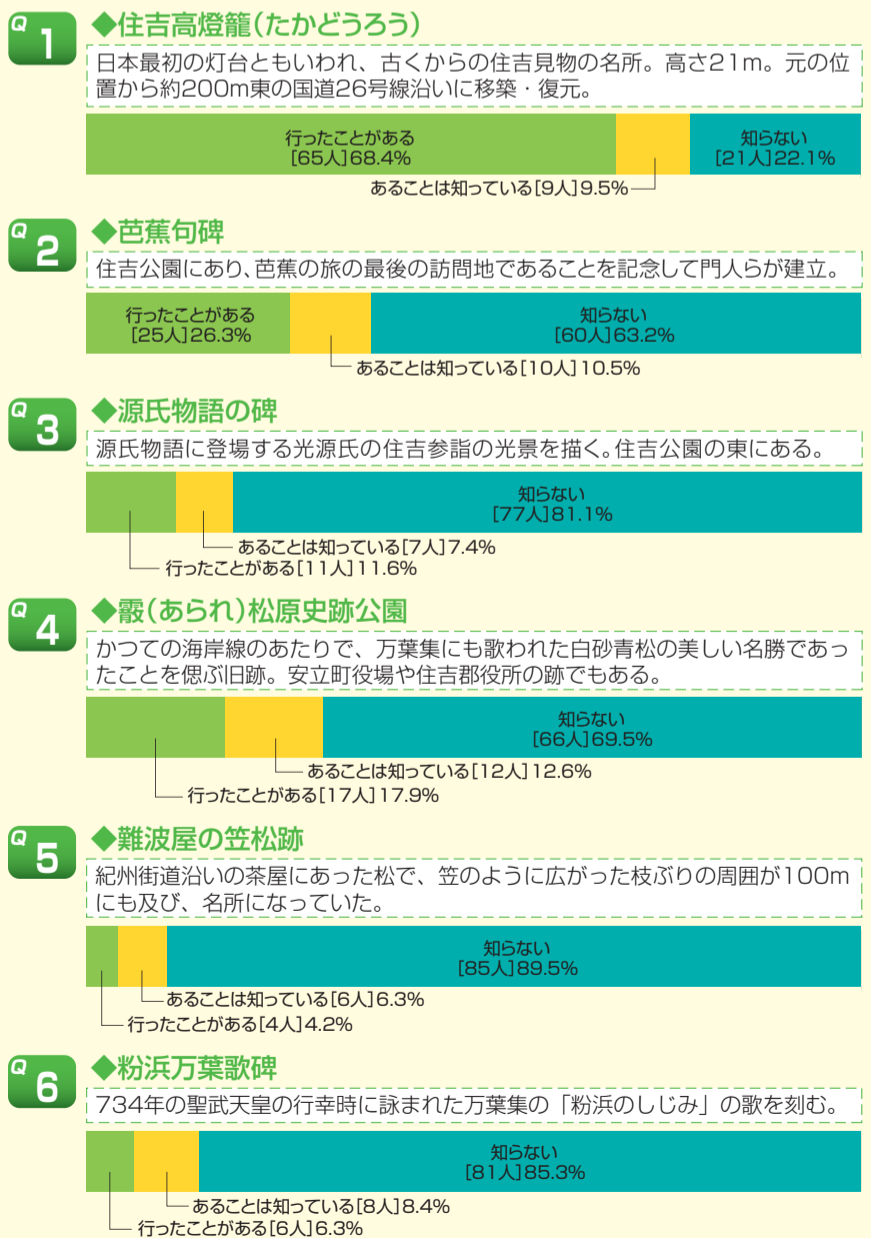
(区民モニターに登録していただいた113名の方のうち、95名の方にご回答をいただきました。)

I 住之江区のイメージについて



全体的傾向 飛び抜けて良い、悪いというイメージは特にありませんでしたが、比較的良好イメージのものとして「買物など日常生活が便利」(63.1%)が一番多く、続いて「住みやすい」(52.6%)でした。一方悪いイメージのものとして「災害に不安」(43.1%)が一番多く、続いて「犯罪や事故の不安が大きい」(41.1%)でした。

II 住之江区の名所旧跡について



全体的傾向 全体的に「知らない」が多いが、その中で「行ったことがある」「あることは知っている」を合わせて認知度が高かったのは、「南港野鳥園」(89.5%)が一番多く、続いて「なにわの海の時空館」(77.9%)と住吉高燈籠(77.9%)、加賀屋新田会所・加賀屋緑地(55.8%)でした。